

潜熱蓄熱材-17 取扱説明書

17～18℃付近を長時間維持する高機能蓄熱材。繰り返し使用可。

《調温方法》

◎輸送時の環境温度によって、調温方法が異なります。

* 下記表を参考に、調温に適した温度と時間をご確認ください。

(できるだけ規定時間以上、調温してください。)

* 調温には恒温器、保温庫、保冷库など温度設定可能なものをご使用ください。室内の空調設備も利用できます。

* 調温の際は、蓄熱材を重ねず、間隔を空けて配置してください。



気温	18℃以上	18℃以下
目的	保冷	保温
調温温度(℃)・時間(H)	4℃ (2H) →16℃ (2H)	37℃ (4H) →20℃ (3H)
調温完了の状態	固体 (白色・不透明)	液体 (透明)
	 <p>* 規定の温度以下で調温した場合、表面温度が17～18℃付近になった直後に使用すると、温度低下をおこすことがあります。 →この場合は、室温で1時間程度静置してください。</p>	 <p>* 規定の温度以上で調温した場合、表面温度が17～18℃付近になった直後に使用すると、温度上昇をおこすことがあります。 →この場合は、室温で1時間程度静置してください。</p>



注意

- ・オートクレーブ、電子レンジの使用は絶対にしてしないでください。
- ・火に近づけないでください。
- ・高温になる場所、直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- ・凍結させないでください。
- ・調温の際、45℃以上にしてしないでください。容器変形、破損の恐れがあります。
- ・強い衝撃を与えたり、落下させたりしないようにご注意ください。
- ・中身を容器から取り出さないでください。
- ・容器の洗浄に有機溶剤を使用すると、破損、劣化に繋がりますのでご注意ください。
- ・容器破損によって、内容物が眼に入った場合、清浄な水で注意深く十分に洗ってください。皮膚に付着した場合、皮膚を大量の水と石鹸で洗ってください。人体に異常を感じたら、必ず医師の手当てを受けてください。(眼、皮膚、他)

重量 : 700 g
融点 ℃ : 17～18
引火点 ℃ : 139
容器材質 : PVC

* 全ての輸送に
使用出来ます。

- ・陸上 消防法
該当せず
- ・海上 船舶安全法
該当せず
- ・航空 航空法
該当せず



株式会社 サンプラテック

□本 社 … ☎(06)6353-5141 FAX(06)6353-5975
□東京支店 … ☎(03)5688-5141(代) FAX(03)5688-5142
□名古屋支店 … ☎(052)962-0291(代) FAX(052)962-0293